

## 学校が変わる。教育が変わる。

「くりっぷ」とは、「学校、家庭、地域をつなぐ」をテーマに、広島県教育委員会や学校での取り組みを保護者の皆さんにお知らせするための広報紙です。ホームページもご覧ください。

### Vol. 77

広島県教委

検索

令和4年3月31日発行 広島県教育委員会



写真：広島県立福山誠之館高等学校

# 遠隔教育システムで 新たな学び

- 県立高等学校が地域を越えて実施 遠隔教育 …2
- 日本一の教育県の実現～新年度の主な事業～ …3
- オンライン学びプログラムを実施 …4
- 学びたい生徒が学べるように！ …4

- 公立高等学校の入学選抜制度を変更 …5～6
- 特別支援学校の取組 …7
- 親子のコミュニケーションを応援！ …7
- 大窪シゲキのこころの相談室 …7

県教育委員会 公式SNS発信中

県教育委員会公式 Instagram  
県教育委員会公式 Facebook

「くりっぷ」はウェブでも  
ご覧いただけます

### 読者プレゼント

3,000円分の  
図書カードNEXT  
をプレゼント

抽選で10人に

- 応募要項／左の応募フォームまたはハガキに、住所・名前・年齢(○歳代)と、「くりっぷ」の感想等を明記の上、応募してください。
- 応募締め切り／4月28日(木)消印有効
- 応募先／〒730-8514広島市中区基町9-42
- 広島県教育委員会事務局「くりっぷ」プレゼント係

※当選者の発表は賞品の発送をもって代えさせていただきます。

「くりっぷ」の感想をお聞かせください  
▶応募フォームはこちら

## 県立高等学校が地域を越えて実施

# 探究的な 学びを实践 遠隔教育

福山誠之館高等学校、油木高等学校  
東城高等学校、日彰館高等学校

広島県では令和3年度から、デジタル技術を活用した「遠隔教育」で、探究的な学びに取り組んでいます。2月15日に、県東部の4つの高等学校が合同で、発表会を行いました。



「四校合同発表会」は、4校をつないだ遠隔教育システムで行われました。各校を代表する生徒が、取り組んできた「地域の課題に対する提案」や「自己の興味・関心・進路に応じた課題」等について発表しました。発表後、その内容について各校の生徒が相互に質問・回答を述べ合い、評価を付けていきました。最後に、地域の専門家などから全体の講評をいただきました。

## 各校を代表して発表した 生徒たちの感想

### 油木高等学校(神石高原町)

【発表者】1年(普通科)  
左：赤木 晶さん  
右：伊達 友紀さん

【発表タイトル】  
総合での取り組みを振り返って～地域で活躍する人々の魅力を伝えるには～

他校による発表の完成度が高いことに驚きました。自分たちの活動を考え直し、改善する機会になる良い経験でした。



【発表タイトル】  
野菜班 活動の中間報告について～野菜チップスの可能性～

発表も慣れていない場所で緊張しましたが、こうした場を増やして発表や活動を充実させていきたいです。

### 福山誠之館高等学校(福山市)

【発表者】1年  
中田 心菜さん

【発表タイトル】  
わたしの課題研究の歩み～教室を換気するとき効率のいい換気方法について～

とても緊張しましたが、話したいことは全て発表できました。他校の人とお互いに交流する良い経験になりました。

### 東城高等学校(庄原市)

【発表者】1年  
左：佐々木 康晶さん  
中：吉田 敬汰さん  
右：吉川 小菜津さん

【発表タイトル】1年間の取組とまとめ～東城まちなみイルミネーション光で街と人を繋げる～

少し緊張しましたが、東城高校の1年間の活動を他の3校に発表でき、良い経験になりました。

### 日彰館高等学校(三次市)

【発表者】1年  
左：光源寺 泉和さん  
右：森光 歩菜さん

【発表タイトル】  
ふれあいが多く盛り上がりのある豊かな町にするには～クイズラリーで地域活性化～

他校の発表を聞くことや、質問などのやり取りを通して、自分たちだけでは分らなかった点にも気付くことができました。